

交換留学（派遣）帰国報告書

皆さんが無事留学を終えられたことを嬉しく思います。本報告書は以下の目的のために使用されます。

- ① 皆さんの留学に関する状況を把握するための資料です。
- ② 今後、交換留学プログラムを改善するための重要な資料となります。
- ③ 留学を考えている後輩達のための有益な資料となります。留学経験を共有するために、ぜひご協力ください。

本報告書は帰国後1ヶ月以内に所属部局教務係に提出してください。

***各項目のスペースが足りない場合は、適宜スペースを足して記入してください。**

本報告書を閲覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、E-mailは公開されません。

氏名：

学籍番号：

e-mail：

留学先大学：WHU

留学先での所属学部・研究科：Business

留学先での在籍身分：Bachelor

留学期間：2017年 8月－2018年 5月

神戸大学での所属学部・研究科：経営学部

学年（出発時）：4

本報告書記入日：2018年 5月 23日

1. 留学先大学について

1-1. 留学先大学の「学期」について

学年開始月日： 8 月 31 日

学年終了月日： 5 月 4 日

学期：

- ① 9 月 4 日～ 11 月 2 日
- ② 11 月 6 日～ 12 月 22 日
- ③ 1 月 9 日～ 3 月 2 日
- ④ 3 月 5 日～ 5 月 4 日

1-2. 留学先大学の特長、人気のある分野等

マスターはファイナンス系に強み。

学部では、ファイナンスの他に、アントレプレナーやストラテジーなど、スタートアップおよびコンサルを視野に入れたような授業にも力を入れている印象。

この大学に通う生徒は、卒業するために交換留学での単位が必要となるため、全員がかなり高いレベルで英語を話せる。一方で、田舎にある比較的小さな大学なので、学内での繋がりはとても強く、かなり排他的な印象。

また、私学なので、相当なレベルのお金持ちが集まっている。そのためか、学力としての学生のレベルはかなり高いものにあると思うが、人間として魅力がある人は全体の2割程度にとどまり、まさに世間知らずで傲慢なボンボンの集まる大学という印象は否めない。

1-3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

授業によって、30人～100人とかなり幅が広い。

テストやペーパーで評価するのが半分、グループワークを重視するのが半分といった感じで、授業は、ディスカッション形式よりアカデミックな形式が多く、その中で生徒が質問をして行くといった進め方が大半。

成績評価の方法は、配点等は明示してくれるが、どのレンジがどの評価ということは、現地の学生からも曖昧な回答しか得られなかったのが、不明瞭ではある。

試験期間と、その2週間ほど前からの現地の学生の取り組みは素晴らしく、一様に図書室や自習室にこもって勉強する学生が見受けられた。

課題は、基本的にここの学生は人を見下しているのが、こちらが実力を示さなければとても疎外されるが、一度認めさせてしまえば、かなり言うことを聞いてくれるようになる。

1-4. 履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 ／週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習, 復習, テスト等についてアドバイスも含めて教えてください。
1	Entrepreneurship	Prof. Dr. Malte Brettel	5h/2w	3 ects	およそ 150~	グループワークの課題がメインなので、そこに積極的に参加すること。授業の内容は同じ内容を行ったり来たりするので、自分で整理し直してテストに臨むといい。
2	Innovation management	Prof. Dr. Holger Ernst	3h/1w	3 ects	80?	こちらにもレポートがある。あとは、内容が膨大なので、早めにテスト勉強を始めると良い。
3	Brand management	Prof. Dr. Tim Oliver Brexendorf	3h/1w	3 ects	50?	ほぼテスト。講義が終わるタイミングとテストとが時間が空くので、ほぼ丸々やり直さないといけない。
4	Business psychology	Prof. Tillmann Wagner	3h/1w	3 ects	80?	ほぼテスト。かなり細かいことばかりをテストで聞かれたので、理解より暗記が大事だったかもしれない。
5	Strategic management	Prof. Dr. Bolko v.Oetinger	3h/1w	3 ects	30?	読む論文等が相当多いので、予習復習は時間をかけた方がいい。
6						
7						
8						
9						
10						

1-5. 留学先大学のサポートについて記入してください。

語学面でのサポート：

留学生向けにドイツ語の授業が開講されている。

勉学面でのサポート：

特になし。

精神面でのサポート：

相談しに行けば対応してもらえたのかもしれないが、私は特に問題がなかったのを把握していない。

住居・生活面でのサポート：

メールや訪問で相談すれば、割と早く対応してくれる。

課外活動のサポート：

インターンの斡旋等行っている。

1-6. 神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか。

はい いいえ

はい

2. 住居

2-1. 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。（気をつけること等）

小さな町なのでどこを選んでも立地に大差はないが、その分出来るだけやすいところに早く応募した方がいい。あとは、基本的に大家の対応はほぼしてくれないと考えた方がいい。友人が住んでいたところでは、共同の洗濯機等が壊れても、全く直しに来る気配はなく、学校を通じて相談しても結局半年は放置だった。しかし、清掃等にはかなり厳しく、何か不備があればすぐに請求をしてくるので気をつけた方がいい。

3. 生活について

3-1. 保険について

どのような種類の保険に加入したかを教えてください。
大学で紹介していただいた保険。

また、現地で加入した保険があれば、ご記入ください。

3-2. PC（パソコン）について

PCの保有の状況： 日本から持参した 現地で購入した 保有しなかった

住居内のインターネットへの接続の可否： 接続できた 接続できなかった

住居内でインターネットに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。
家賃に含まれるが、通信速度や快適さは期待しない方がいい。

大学でのPCの使用の可否： 使用できた 使用できなかった

大学でPCを使用していた場合、施設の場所や日本語環境等について記入してください。
日本語設定はなし。基本印刷のときにしか使わなかった。

3-3. 医療について

留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。

健康管理あるいは衛生面について特に注意すべきこと。
自炊初心者であれば、栄養管理は気をつけた方がいい。
ドイツは水は大丈夫だが、不安なら気をつけた方が安全。

3-4. 銀行口座について

留学先でお金を引き出せるように、どのように準備・手続きしましたか。
（現地で口座開設、キャッシュパスポート利用等）
MoneyTglobal というサービスを利用。

3-5. 異文化体験について

留学先の文化・社会（習慣の違い等）について記入してください。
あまりにも多かったので、全て記述するのは難しいが、食事や、風呂、時間感覚、などはかなり違っていたし、話をする時に主語が常に自分なのも、宗教的なものが大きいのかなと感じた。

大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトをもちましたか。
小さな町なので、よく行くレストランの方などとは顔見知りになった。
あとは、旅行の時にホステルや Airbnb を利用したので、そこで知り合っご飯に行ったり夜出かけたりなどはかなりあった。

課外活動（ボランティア、インターンシップ、アルバイト等）をしましたか。
していない。

留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。（安全性、外国人への態度等）
とても安全でのか。ご老人が多く、彼らは基本的に優しい。トルコ系の方々は僕らには冷たい。
その代わりに、本当に何も無い田舎。日本人どころか、日本を感じられるものは皆無。

3-6. 留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、教えてください。

ボストンのキャリアフォーラムに参加。

4. 経費について

4-1. 留学期間を通して必要だった費用を記入してください。（概算で結構ですので、円価で記入してください。）

航空運賃：往復 15 万
住居費（月額×留学月数）：6 万×8 ヶ月
食費（月額×留学月数）：5 万×8 ヶ月
保険料：7 万
その他：旅費 70 万
計： 180 万 円（留学期間全体の費用）

4-2. 奨学金を受給していた場合、奨学金についてご記入ください。

（財団等名） 日本学生支援機構 , 8 万 円/月
その他（渡航費等の支給） 円

5. アドバイス及び感想

5-1. 現地で参考となった留学先国の情報（出版物、ホームページ）を記入してください。

地球の歩き方

5-2. 日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。

日本食用調味料

5-3. 留学することによって得られたことについて記入してください。

（語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等）

※ 語学力については、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。

留学前：(TOEFL 等試験の名前) 点→帰国後（ ） 点

語学力の向上

自己理解と自己内省の時間の増加と、その際に使う物差しの多様化

異文化理解

5-4. 振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。

5-5. 留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。

基本的には特に問題はなく、充実していたと思う。

ただ、可能であったら、WHUからの留学生を受け入れること、および大学の情報をもう少し得られるようになること、があればよかったかなとは思う。

5-6. 本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。

薦める。

私自身が大学に通う意味と、この留学を通じて得られるものは、深いところでつながっていると考えているから。

ただ、自身で考えて決断することが一番大事だと思うので、個人ん選択を尊重したい。

5-7. 留学全体を振り返って、以下の質問に答えてください。

（5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価）

- ・留学先大学の授業の「質」（内容、レベル等）に満足しましたか： 2
- ・留学先大学の学生サービスに満足しましたか： 3
- ・留学先の住み心地（安全性等）に満足しましたか： 4
- ・住居の「質」（広さ、料金等）に満足しましたか： 4
- ・全体として留学に係る費用は安かったと思い、満足しましたか： 4
- ・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか： 4
- ・留学全体の総合的な評価： 5

5-8. その他 自由に記入してください。

6. 留学経験の共有について

あなた自身の写真や大学キャンパス等の写真があれば、ぜひ報告書に添付して送ってください。
(デジタル画像をお願いします。)

6-1. 神戸大学では所属部局教務係及び国際交流課にて、留学を考えている学生のために報告書を閲覧できるように保管します。あなたは、本報告書を閲覧資料とすることに同意しますか。(あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません。)

*担当部署（所属部局又は国際交流課）が本報告書の原本を保管します。あなたが閲覧資料とすることに同意しない場合であっても、あなたの状況等を把握するために及び本プログラムを改善するために、学内の関係部署に転送することがあります。

はい

いいえ

6-2. あなたの本報告書の一部を引用して、本学の印刷物やホームページに掲載することに同意しますか。

はい

いいえ

6-3. もし写真を提出する場合、あなたの写真を報告書とともに閲覧資料とすることに同意しますか。

はい

いいえ

6-4. もし写真を提出する場合、あなたの写真を本学の印刷物やホームページに掲載することに同意しますか。

はい

いいえ

6-5. 国際教育総合センターが実施する「海外留学フェア」にご協力いただけますか。(留学体験を発表するなど)

*ご協力いただける場合、後日、留学生センター教員よりあなたに連絡することがあります。

はい

いいえ

ご協力ありがとうございました。本報告書は大変有益な資料となります。

本報告書の提出先は以下のとおりです。原則として e-mail で提出してください。もし、e-mail を使用できない場合は、郵送又はファックスで提出願います。

経営学研究科学部・大学院教務係 〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 2-1

bkjomu@b.kobe-u.ac.jp